



AICHI Orchestra Festival

あいちオーケストラフェスティバル 2021

料金 各公演 1,000円(全席指定・税込) 一定の割合で間隔を空けた配席になっています。

中部フィルハーモニー交響楽団

2021 10/15 (金)

発売日 9/9(木)

18:30開演 (17:30開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

(名古屋市中区東桜1-13-2)

指揮：飯森 範親

チャイコフスキー

オペラ「エフゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」

弦楽セレナード ハ長調 作品48

交響曲第4番 ヘ短調 作品36



© 山岸伸



〈プレイガイド〉

【窓口・電話】 芸文プレイガイド 052-972-0430

(10:00~19:00/土日祝10:00~18:00) ※月曜定休(祝日の場合は翌日)

【WEB】 [アイ・チケット](#) [アイ・チケットweb](#) 検索 《スマホチケットのみ取扱》

発券手数料330円無料キャンペーン

セントラル愛知交響楽団

2021 11/4 (木)

発売日

サラマンカメイト先行 9/20(月・祝)

一般 9/24(金)

19:00開演 (18:00開場)

サラマンカホール (岐阜市数田南5-14-53)

指揮：古谷 誠一

ビゼー

「カルメン」第1組曲

「アルルの女」作品23 第2組曲

リムスキー=コルサコフ

スペイン奇想曲 作品34



ラヴェル
ボレロ



〈プレイガイド〉

【窓口・電話】 サラマンカホールチケットセンター 058-277-1110(9:00~21:30)

※発売初日の窓口は12:00~

発券手数料330円無料キャンペーン

【WEB】 [アイ・チケット](#) [アイ・チケットweb](#) 検索 《スマホチケットのみ取扱》

サラマンカ・オンラインチケット [サラマンカホール](#) 検索 ※発売初日は9:00~

愛知室内オーケストラ

2021 11/21 (日)

発売日

フレンズ会員 9/4(土)

一般 9/11(土)

15:00開演 (14:00開場)

長久手市文化の家 森のホール (長久手市野田農201)

指揮：碓山 隆一郎 サクソフォン：石川 貴憲

バーバー

弦楽のためのアダージョ

トマジ

アルト・サクソフォンと

管弦楽のためのバラード

ラヴェル

クーブランの墓

ベートーヴェン

交響曲第4番

変ロ長調 作品60



〈プレイガイド〉

【電話】 長久手市文化の家(チケット専用) 0561-61-2888(9:00~19:00)

※月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※電話予約は各申込日の翌日から

【WEB】 [アイ・チケット](#) [アイ・チケットweb](#) 検索 《スマホチケットのみ取扱》

発券手数料330円無料キャンペーン

名古屋フィルハーモニー交響楽団

2022 1/7 (金)

発売日

第1次発売(ゆめプラメイト限定) 11/6(土)

第2次発売(一般) 11/13(土)

18:30開演 (17:30開場)

ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)輝きホール

(知多郡武豊町大門田11)

指揮：竹本 泰蔵 ピアノ：川田 健太郎

J.シュトラウス二世

ワルツ『春の声』

トリッチ・トラッチ・ポルカ

ワルツ『美しく青きドナウ』

ガーシュウィン[ファリントン編]

ラプソディ・イン・ブルー

パリのアメリカ人

ほか



〈プレイガイド〉

【窓口・電話】 ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) 0569-74-1211(9:00~21:00)

※月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※電話予約は各申込日の翌日から

【WEB】 [アイ・チケット](#) [アイ・チケットweb](#) 検索 《スマホチケットのみ取扱》

発券手数料330円無料キャンペーン

【主催】 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会、愛知県芸術劇場、サラマンカホール(11/4のみ)、長久手市(11/21のみ)
NPOたけとよ 武豊町教育委員会(1/7のみ)

【お問合せ】 [クラシック名古屋](#) 052-678-5310(11:00~16:00 土日祝休)

※未就学児のご入場はお断りいたします。※ご来場時にはマスクの着用をお願いいたします。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等変更になる場合がございます。その場合もチケットの払い戻しは承れません。ご了承ください。※入場時の検温(37.5度以上入場不可)、手洗い・消毒など感染症対策にご協力をお願いします。※発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。※新型コロナウイルス感染症の影響により、状況が変わる場合があります。最新情報は各会館のホームページをご覧ください。

飯森 範親 (指揮)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に就任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、現在は特別客演指揮者。2006年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2007年より山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンより同楽団芸術総監督に就任。2014年シーズンより日本センチュリー交響楽団首席指揮者。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドヴァイザー(次期音楽監督)に就任。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

Norichika Imori, Conductor



中部フィルハーモニー交響楽団

中部フィルハーモニー交響楽団は2000年に小牧市交響楽団として発足し、2007年に中部フィルハーモニー交響楽団と改名後、中部圏の音楽文化振興を図るため、各地で定期的な公演を行い地域に愛されるプロ交響楽団として活動を行っている。また文化庁巡回公演では10年以上に渡り北海道から沖縄まで日本全国で公演を行っている。現在の芸術監督・首席指揮者は日本を代表する指揮者の一人秋山和慶。2020年4月からは首席客演指揮者に飯森範親を迎え、さらなる飛躍を目指す。受賞歴としては、愛知県芸術文化選奨新人賞等を受賞。2017年12月には「地方自治の発展に寄与した」として愛知県知事より感謝状を授与された。本拠地は愛知県小牧市。

Chubu Philharmonic Orchestra



古谷 誠一 (指揮)

都立立川高等学校を経て、東京大学卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、故三善晃、末吉保雄の各氏に師事。東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オーケストラ、名古屋フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセントルークスオーケストラ・ニューヨークと共演。2003年10月には韓国初のオペラハウスにおいて、オープニングフェスティバル「マダム・バタフライ」を指揮。2005～2006年、ポロニー歌劇場にて研修。現在、名古屋芸術大学客員教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。

Seiichi Kotani, Conductor



セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。若倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2021年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般社団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベングラフ賞」受賞。

Central Aichi Symphony Orchestra



碓山 隆一郎 (指揮)

鹿児島県喜界島初の指揮者。東京音楽大学指揮科卒業。在学中より演奏活動を開始し、現在まで各地のオーケストラと演奏会を行っており、バロックから近現代までさまざまなジャンルのレパートリーを持っている。2015年から渡独。マンハイム音楽大学にてオーケストラ指揮を学び、オペラ・プロヴディフ・シンフォニーオーケストラ、コンスタンツ南西ドイツ・フィルハーモニーを指揮した。2017年からはグルムシュタット音楽アカデミーにて合唱指揮を学ぶ。2018年にはドイツにてヴィルヘルム・ペーターゼン協会主催、ペーターゼン作曲オペラ「黄金の壺」を指揮し成功を収める。2021年サントリーホール主催「デジタルオープンハウス」にて横浜シンフォニエッタと共演した。

Ryuichiro Ikariyama, Conductor



石川 貴憲 (サクソフォン)

山口県下関市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。第3回ナゴヤサクソフォンコンクール若手演奏家部門において第1位。第15回大阪国際音楽コンクール木管部門において入賞。Unità「Della」Sax アルトサクソフォン奏者。ナゴヤサクソフェスタ実行委員。サクソフォン、チェロ、ピアノの編成でピアノ三重奏の名曲を取り上げるトリオ「としび」として活動中。愛知県立芸術大学 病院アウトリーチプロジェクト コーディネーター。長久手市文化の家に演奏、ワークショップ、アウトリーチ企画に携わる契約アーティスト「創造スタッフ」として4年間活動。現在は同施設にて福祉分野に特化した取り組みを行う「フランチャイズ・アーティスト」として活動中。

Takanori Ishikawa, Saxophone



愛知室内オーケストラ

2002年に愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。現在は国内外で研鑽を積んだプロの演奏家で構成されている。主催公演では、定期演奏会をはじめ、2020年より始動した「ベルネットシリーズ」を行う。また親子向けのファミリーコンサートも毎年開催しており、団員自らが企画・演出を手がけ趣向を凝らした内容に定評がある。2015年から6年間に渡り新田コリを常任指揮者に迎え、より緻密なアンサンブルの追求とともに、北欧音楽の響きの探求にも力を注いだ。2016年度名古屋芸術奨励賞受賞。2019年には日本-フィンランド外交樹立100周年を記念して、フィンランドの2都市で初の海外公演をおこない成功を収める。

Aichi Chamber Orchestra



竹本 泰蔵 (指揮)

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、ベルリンを中心に研鑽を積み、帰国後は全国の主要オーケストラに客演し、クラシック・コンサートはもとより、オペラ、バレエ、ミュージカルなど第一線で活躍中。特に映画音楽の分野の活躍はめざましく、映画に使われたサウンドを出来るだけ忠実に復元したオーケストラ楽譜を制作、積極的にコンサートで取り上げている。生演奏と映像をシンクロさせた「ファンタジア シネマ・ライヴ」公演(1991年)など歴史的なコンサートにも名を連ねており、映画音楽のレコーディング曲数はすでに100曲を超えている。また自身の企画・構成による「映像付コンサート・シリーズ」を各地で展開。全国各地で好評を博している。

Taizo Takemoto, Conductor



川田 健太郎 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院本科卒業。ロームミュージックファンデーション海外派遣奨励学生。第14回かながわ音楽コンクール第1位、第4回東京音楽コンクール第3位(1位なし)、第15回ラフマニノフ国際ピアノコンクールファイナリスト等。ソリストとして日本の主要なオーケストラと共演する他、映画、CM、ドラマ、アニメ、ミュージカル等の劇中ピアノ演奏、手元吹替演奏、演奏指導を数多く担当。クラシック音楽のみならずジャンルを越えたアーティストとの共演を重ね、フレキシブルな活動を展開している。NPO法人 芸術・文化「若い芽を育てる会」理事。名古屋芸術大学専任講師。

Kentaro Kawada, Piano



名古屋フィルハーモニー交響楽団

1966年7月10日創立。「名フィル」の愛称で親しまれている、中部・東海地方を代表するプロ・オーケストラ。愛知県名古屋を中心に活動し、革新的なプログラムや充実した演奏内容で広く話題を巻き起こしている。2016年4月、日本を代表する指揮者である小泉和裕が音楽監督に就任。ほかに現在の指揮者陣には、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。2020年4月、第3代コンポーザー・イン・レジデンスに坂田直樹が就任。現在は、バラエティに富んだ年間110～120回の演奏会に出演している。

Nagoya Philharmonic Orchestra



【ご来場の皆様へお願い】 ●マスクを着用の上ご来場ください。手洗い・手指の消毒にご協力ください。 ●発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。 ●入場時の検温にご協力ください。 ●会場内で新型コロナウイルスの感染が疑われる来場者が発生した場合、行政機関・保健所の指導のもとに、主催者として、チケット購入者の個人情報収集し提供する場合があります。 ●客席内ではマスクを着用し、会話を控え、自席で静かにお過ごしください。 ●入退場時、トイレ等、会場内での社会的距離の確保をお願いいたします。 ●ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。 ●プラケットの貸出はございません。 ●「ブラボー」等の掛け声はご遠慮ください。 ●本公演はその一部または全部が録音・録画され、インターネットにより配信される場合があります。あらかじめご了承の上、ご参加ください。